

# 乳児期の鎮静剤暴露の影響の後ろ向き検討：小児鎮静 MRI における鎮静剤入眠量による比較

## 1. 研究の対象

2018年10月～2022年3月の間に当院2階MRI室で麻酔科管理にてMRIを行った0歳から15歳までの患者さんを対象とします

## 2. 研究目的・方法

麻酔科管理の鎮静MRIでは、麻酔科医が鎮静を行っています。過去に、特に乳児期に頻回に麻酔薬の投与が行われている場合、神経の受容体に変化を及ぼし、通常よりも多量の麻酔薬が必要な場合があります。今回この研究では、過去の診療録から検査時の鎮静薬の投与量および全身麻酔歴などを抽出し、麻酔科鎮静のMRIで投与した薬剤の量を後ろ向きに比較し、より安全にMRI検査が施行されるように検討します。できる限り多くの患者さんのデータで比較するため、2018年10月から2022年3月までに当院でMRI検査を麻酔科管理の鎮静下で行われた方を対象としています。研究期間は、臨床研究倫理委員会承認後から2022年3月までです。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者さんの性別・年齢・身長・体重・検査中に使用した麻酔薬の種類と量・病名・過去の麻酔薬投与歴

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター  
〒534-0021  
大阪市都島区都島本通2-13-22  
電話 06-6929-1221（代表）  
麻酔科 池田慈子